



きたかし

〒802-0071 北九州市小倉北区東篠崎 1-4-1-201 TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535
(ウェブサイト) <http://www.kiitaka.net> (メールアドレス) smail@kiitaka.net

地元北九州市を代表して党政調会長代理、党広報本副本部長、国土交通委員会委員、憲法審査会委員として活動

ムダを見直し、人へ暮らしへ産業へ



マイナ保険証問題については、現行の健康保険証を来年秋に廃止する政府の方針を延期することを求めています。一番大きな懸念点は、セキュリティが甘いことです。過去3年の病気や検査の情報、母子手帳などがひもづけられているにもかかわらず、ひもづけ間違いがありました。また、約36万人がマイナンバーと医療情報のひもづけがされず、マイナ保険証が利用できない問題も明らかになりました。現時点で一番良い解決方法は現行の保険証を残すことです。党政務調査会長代理として健康保険証廃止延期法案を準備して国会に提出する予定です。

皆さん、こんにちは。衆議院議員のきたかしです。

怒涛の夏祭りラッシュでした。4年ぶりの開催も多く、地域の皆さんと触れ合う貴重な機会でもあります。運営に関わられた全てのお世話役の皆さんに感謝します。この間、門司区・小倉北区・小倉南区の各地で街頭演説に立ち、臨時国会へ向けた取り組みについて訴えています。

ひとつは、ガソリン代や電気代の高騰対策です。8月25日には、党政務調査会長代理として取りまとめに参画した「燃料油価格の高騰への対処求める要請」を経済産業省に申し入れました。9月末に切れる政府の補助については緊急に延長しつつ、いわゆる「トリガー条項」については復興財源への影響に配慮しつつ、必要な期間、一時的に凍結解除・発動すること、現在の元売り事業者への補助制度に代わり消費者に直接給付しつつ省エネへのインセンティブが働く激変緩和措置の検討することなどを求める内容です。

北九州市を元気にするために、北九州空港の滑走路延長をきっかけに、宇宙産業など新しい職種を増やす取り組みを重ねることも訴えています。新たな職種が増えれば、地元生まれの若い世代や移住希望のファミリーが働ける場が増えやすくなり、人口増にもつながります。地元北九州市の発展へ党派を超えて引き続き取り組みます。

岸田政権による防衛増税や子ども政策の財源確保が「取りやすいところから取る」手段ばかりになっていること、挙句の果てにサラリーマン増税の検討するという政府の姿勢についても見直しを求めています。まずは、税金などのムダ見直しや一億円の力ベ問題の改善など、応能負担の徹底に取り組むべきです。

ムダを見直し、人へ暮らしへ産業へ。これからも、現場の声を基に、国に改革を促す、私の活動を応援いただければありがたいです。宜しくお願い申し上げます。

衆議院議員 きたかし

地元北九州市の発展のきっかけづくりをリード

地元北九州市の国への要望実現に向けて、通常国会で開催された予算委員会分科会で北九州港の老朽化対策、新門司地区複合一貫輸送ターミナルの整備、港湾施設の計画的整備、浚渫土砂処分場の整備、関門航路の深水確保、北九州空港の滑走路延長、洋上風力関連産業の拠点化、旦過市場の再整備などについて、国土交通大臣に市民の要望に沿った確実な取り組みを求めました。令和5年度の国の予算における北九州市関係分についても国土交通省関係を中心に必要額をしっかりと確保いたしました。令和6年度も予算確保へ努力を重ねます。



北九州市民の要望に沿った確実な取り組みを国土交通大臣に求めました

- 北九州空港滑走路延長の早期事業化・早期供用のため、国の支援を。
- 北九州空港の物流拠点機能向上のため、国の支援を。
- 北九州港の洋上風力発電関連産業の拠点化・機能拡充のため、国の支援を。
- 旦過市場の再整備を着実に推進するため、国の積極的な支援を。
- 北九州港の老朽化した港湾施設や海岸保全施設の整備、国からの支援の拡充を。
- 北九州港新門司地区複合一貫輸送ターミナルの整備に、国の支援を。
- 北九州港における社会資本総合整備計画に基づく港湾施設の計画的整備に、国の支援を。
- 北九州港の浚渫土砂を処分する廃棄物海面処分場の整備に、国の支援を。
- 関門航路の深水14m確保に向けて、国の着実な支援を。

子どもを守る日本版DBSの対象は広くとるべき

政府が準備検討を進めている日本版DBS（教育・保育施設等や子どもが活動する場等において働く際に性犯罪歴等についての証明を求める仕組み）の対象となる職種に注目が集まっています。私は子どもたちを性犯罪者から守るため、日本版DBSの対象を広くとるべきと訴えています。そこで、右の表にある職種が対象に入るか子ども家庭庁に確認したところ、「現在有識者による議論を行っているところ」との回答がありました。子どもたちを性犯罪者から守るため引き続き仕組みの充実に尽力します。

子ども家庭庁に確認している日本版DBS対象職種

- 公的な許可を受ける学校・保育園・児童養護施設など ①教育実習生、②教育業務指導員(スクールサポートスタッフ)、③外部指導員
- 民間事業者 ①塾の講師など、②各種学校の講師など、③認可外保育園の保育士など、④学童保育の指導員など、⑤ジム・水泳教室・体操教室・スポーツクラブ、ダンス教室等の指導員など、⑥ピアノ・習字・そろばん・踊り等、いわゆる「習い事、お稽古事」の先生など



衆議院議員 きたかし (城井 崇) のプロフィール

地元北九州で東奔西走。3子のパパとしても子育て奮闘中。

1973年(昭和48年)北九州門司区生まれ。日野瀬小・早稲川中・門司高、北九州予備校(2浪)、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆議院で初当選。09、17、21年衆議院で当選(現在4期目)。文部科学大臣政務官、予算委員、国土交通委員、文部科学委員等を歴任。現在、衆議院国土交通委員会委員、憲法審査会委員、党政務調査会長代理、広報本副本部長、子ども・若者応援本部副本部長、政策課題解決チームリーダー、福岡県連代表、福岡県第10区総支部長。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物:ラーメン、焼肉、焼きカレー。

